

例会報告

第2646回クラブ協議会・例会報告議事録

日時 令和3年7月27日（火曜日）

場所 ハート柏迎賓館（1階 特別ルーム）

時間 12：15点鐘

ロータリーソング「手に手つないで」

ビジター：なし

S.A.A.：米田友義

ゲスト：国際ロータリー第2790地区	ガバナー	梶原 等 様
国際ロータリー第2790地区 第11グループ	ガバナー補佐	佐々木るみ子 様
国際ロータリー第2790地区	地区幹事長	佐々木高治 様
国際ロータリー第2790地区	地区幹事	大野雅章 様
国際ロータリー第2790地区 第11グループ	ガバナー補佐幹事	長岡哲也 様

会長挨拶

依田会長



我孫子クラブによろこお越しいただきまして、ありがとうございます。
地区では当我孫子クラブより国際奉仕委員長に藤本エレクトを輩出させて
いただいております。地区でも宜しく申し上げます。
我孫子クラブは前回のオリンピック開催の1964年の次の年に創立された56
年目のクラブです。我孫子という土地柄大きいクラブではないですが32名の少
数精鋭のクラブです。

さて、行われておりますオリンピックですが連日感動させられています。子供のころからの夢や4
年間の努力の積み重ねの想いが詰め込まれています。無観客になりましたが、開催されて本当に
良かったと思います。

それにしても連日、寝不足になりました。最初から最後まで試合を見たいのです。うちの妻は結
果だけわかればいいんじゃない?と言いますが、勝負は面白いもので最終的に勝利の前の決定的
な瞬間があります。

昨日の卓球でいえば最後の決定打の前に最初に2セット取られていて、ピンチを3セット目に抑え
て次の4セット目を取った事に勝因があると思います。ここはというところでした。しっかり勝負ができてい
たり。それは試合が終わった後にわかるのです。その時は無我夢中でやっていたプレーが勝負を
決めます。3-0で負けたとしても競り合って負けてしまったのか、そうではないか大事な所です。結
果も大事ですがその過程も重要だと思っています。

今の若い10代の選手達は内村航平選手や谷亮子選手などにあこがれてオリンピックを目指し
たと言っています。日本人選手が活躍すればこれからの子どもの夢につながると思います。

ロータリーの活動も善い行いを続けていけば誰か見ていると思います。米山の奨学生が大人に
なってロータリーに入るように、将来は自分で会社を立ててロータリークラブに入りたいな、なんて
いう子供たちが出てくることを願っております。

本日はこの後、ガバナーの卓話やクラブ協議会がありますので時間が長くなりますが、よろしくお
願います。

出席委員会報告

日暮委員長



26名（出席免除者含む）出席（全員で32名） 出席率81.25%
業務による欠席：斎藤会員、三枝会員、志賀会員、寺井会員、福武会員、
前田会員、湯下会員

幹事報告

柳田幹事



・柏RCよりクラブ活動計画書受領。ご覧になりたい方はお声がけください。



本年度、第2790地区ガバナーを拝命しております梶原等と申します。所属は千葉ロータリークラブです。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度はグループの再編のこと、ガバナー補佐の選任のことで地区の皆さんを大変お騒がせしました。地区を代表しまして改めてお詫び申し上げます。また、前向きにご協力いただいた方々には改めて感謝申し上げます。2年後に再編を計画して進めているところです。地区がよくなり、運営しやすくなり、クラブの活性化を目指しておりますのでご理解をいただきたいと思っております。

本日は我孫子ロータリークラブの公式訪問ということで、佐々木み子ガバナー補佐、長岡ガバナー補佐幹事にもお運びいただきまして、依田会長、柳田幹事、皆様の調整のもと、このように盛大にガバナー公式訪問を開催していただきまして誠にありがとうございます。非常に楽しみに参りました。よろしくお願いいたします。

今年度は地区の国際奉仕委員会の委員長に藤本会長エレクトが推薦をいただきまして、地区の方でお仕事をしていただいております。会長エレクトと地区の国際奉仕委員長を兼務するのは大変忙しく、逆に言えばやりがいがあると思うのですが、ぜひロータリーにどっぷりつかっていただき、クラブの皆様もいろいろ支援をしていただきたいと思います。

戦略計画委員会を立ち上げていただき、ビジョンも明確に示していただき、本当にありがとうございます。

会長の活動計画書のご挨拶の中に、ロータリークラブに入り最高の財産は信頼ある仲間との出会いだと思いますという一文があります。依田会長は皆さんのことを最高の財産であると思われると思います。ぜひこの絆をクラブの活動に、またクラブ内の親睦に生かして行っていただきたいと思っております。

昨年度はグループの再編で地区内がガタガタしました。歴史を振り返ってみたいと思っております。

1月の漆原ガバナーの月信の特集号で地区リーダーシッププランDLPについてお話しさせていただきました。1951年、東京ロータリークラブをスポンサーとして千葉県に中央ロータリークラブが誕生し70年が経ちました。1965年には我孫子ロータリークラブさんも誕生しました。

1997年のピーク時には4337名で、今年7月は2665名です。ピーク時のクラブ数は85クラブで現在82クラブでそんなに減っていません。会員数はかなり減っていますが、クラブ数はあまり変わっていません。

2016年より地区でも戦略計画委員会を立ち上げました。

地区としての課題は会員数の維持拡大がメインです。また、2002年にクラブの強化のために地区リーダーシップDLPの導入が義務付けられています。そして、そのための地区の戦略計画委員会があります。そしてクラブの戦略計画も推奨しています。

なぜグループ、昔で言う分区の再編になったのか、ということですが、今の第7グループは9クラブで、第8、第9グループは4クラブずつしかなく、この倍以上の差を埋めようと言うことで今から20年前くらいから受け継がれてきました。昨年やっとグループの再編という話になったのですが周知不足で混乱になり延期になりました。また、ガバナー補佐選出に関しては柏、我孫子エリアではさほど混乱はなかったのですが、南や東の方ではけっこう大きな課題になりました。

年度内に具体的な案を皆さまにお示しして理解していただき、来年度に各クラブに周知し、クラブの交流を持っていただきたいと思います。2年後からの再編の実施に向けた方向で考えているところです。

基本的には既存のグループは割らないような形で考えています。千葉県の2790地区のクラブを4つくらいに分ける予定です。そうすることで、ガバナー補佐同士の横の連携がしやすくなります。ガバナー補佐の選出についてはもっと自由に柔軟にできればと思っています。

グループ群の各クラブを統括する地区のジェネラルマネージャーとしての役割をしていただくのがガバナー補佐です。会員の拡大、米山や財団への寄付のお願い、各プロジェクトのサポート等、ガバナー補佐の方にサポートしていただきたいことは山ほどあります。



本年度のガバナー補佐の方には、年度の前半にロータリー地区情報研究会を開催してくださいとお願いしました。特に入会3~5年の新しい会員の方にはロータリーの基本であるサービス、職業奉仕をしっかりと示してくださいとお願いしています。

年度の後半に行われるインターシティ・ミーティングIMについては、会員基盤向上セミナーとして、様々なプロジェクトの事例や会員増強の成功事例等、インパクトのある事例を皆さんで学んでくださいとお願いしています。コロナ禍ということで大勢の人が一堂に会するのは難しいかもしれませんが、将来的なことも考え、できれば2つ以上のグループで集まりを持って開催してくださいとお願いしています。

地区としての初めてのイベントを3つお願いしています。

環境保全プロジェクト、ポリオ根絶およびコロナ収束祈願プロジェクト、そしてロータリーの広報公共イメージ向上プロジェクトです。

環境保全プロジェクトについては9月12日(日)に海岸清掃を行います。我孫子地区は手賀沼でお願いできればと思います。国内では25以上の地区、海外では100以上の地区が参加予定です。これは茨城地区が昨年より開催しているプロジェクトです。

10月24日(日)の世界ポリオデーに成田山新勝寺でポリオの根絶祈願、コロナの収束祈願を行い、ロータリーの広報公共イメージアップのPRイベントも行います。メディアにロータリーをPRする絶好の機会になります。私が所属する第3グループでは千葉神社を拠点として同様のプロジェクトを開催します。

ポリオの根絶に向けて、ロータリーカードをよかつたら是非作ってください。利用金額の0.3%がポリオの方に寄付されます。よろしくお願ひします。

東京地区が中心になり、トレインジャックというイベントも行います。神奈川、埼玉、千葉の方で、総武線、常磐線、つくばエクスプレスの女性専用車両を1週間貸し切ってエンドポリオの中吊り広告を出します。昼間の時間帯は男女問わず乗れますので、利用されることがありましたら是非その車両に乗ってみてください。

本年度の地区のスローガンは「Love Other Spirit」~繋ごう次世代へ夢ある未来に向けて~です。愛他精神、利他の心と読んでいただいてもかまいません。

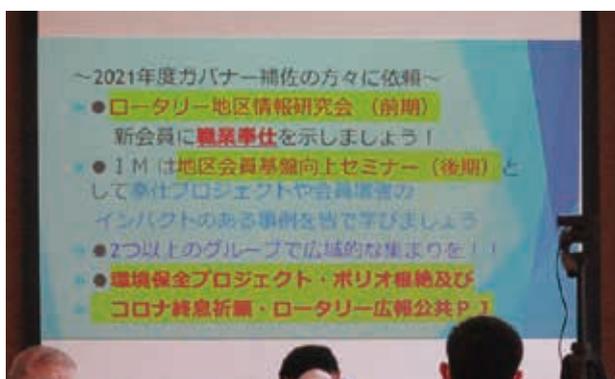
昨年度は地区の中がいろいろガタガタしました。本年度はもう少し人に対する配慮の気持ち、相手を思いやる気持ち、愛情を持って人に接するという気持ちが我々地区側にもあれば、また誹謗中傷を発信された側にもあれば、穏やかな一年だったのかなと思います。そういったところも反省して、ロータリーの基本のサービス、原点に立ち戻ろうということで「Love Other Spirit」というスローガンを掲げさせていただきました。

~繋ごう次世代へ夢ある未来に向けて~というのは、若いロータリアンに未来をつないでいってもらわなければいけない、地域社会も子ども達に未来を託していかなければいけない、そのためにはロータリーに将来が感じられるような夢がなければならぬ、という意味です。

私の職業奉仕についてです。仕事は建築の設備設計です。会社の若い社員を育てたり、業界の若い人たちを未来に繋げるために奮闘しています。これらはロータリーの先輩方が見せてくださったロータリーの基本理念、サービス、人のために働く大切さを勉強させていただいたからです。

私たちガバナーが最後に研修を受ける国際協議会というものがあります。これはアメリカに1週間行って受けてきます。今まではアメリカのサンディエゴに行っていましたが、私の年度からはフロリダ州のオーランドに会場が変わりましたが、コロナ禍のためバーチャルでの国際協議会になりました。

その国際協議会の会場の入り口に"Enter to Learn, go forth to serve" 入りて学び出でて奉仕せよ、というスローガンが掲げられていたのが、今は"Join Leaders - Exchange Ideas - Take Action"リーダー達が集まり、アイデアを出し合って、行動しよう、と変わっています。この変化は古くからのロータリアンの方々には大きなショックでした。



2018年にはロータリーは次のようなビジョン声明を発表しています。
「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

そしてロータリーの戦略的優先事項としては

- 1 より大きなインパクトをもたらす
- 2 参加者の基盤を広げる
- 3 参加者の積極的なかわりを促す
- 4 適応力を高める

としています。これには大きな意識改革が必要となります。

今から3年前にロータリー未来形成委員会という委員会ができましたが、メッセージとして発信されたのは2020年12月でした。100年間続いた地区の制度を刷新するというメッセージです。2030年から改変案を実施するそうです。

今、世界は535の地区に、日本国内は34の地区に分かれています。これを言語圏、文化圏に分割し約40のリージョンに分け、1つのリージョンに30~40のセクションというグループが誕生するそうです。世界は今535の地区に分かれていますのを1500のセクションに分けます。日本は今34の地区に分かれていますのを102のセクションに分かれるそうです。

各セクションにはセクションリーダー、今のガバナーのような人が選挙で選ばれます。リージョンにはリージョンカOUNシルという日本のRI理事のような人がやはり選挙で選ばれます。

任期は今1年ですが、セクションリーダーは2年、リージョンカOUNシルは3年になります。

これは今の段階では確定ではありませんが、来年4月の規定審議会ですべて具体的な方向性が決まってくると思います。

時代は変革期を過ぎ既に新しい時代に突入しています。ロータリーも新しい変化に対応して、時代の先を進まなければなりません。しかし、ロータリーの基本理念、サービス、フェロウシップ、親睦と奉仕、その本質は決して忘れず、形の変化を恐れずに柔軟に対応してまいりましょう。

さすがロータリー、さすがロータリアンと言われるように、多様性、公平さ、開放性、高潔性を持って我々は行動していきたいと思えます。我々のサービス、職業奉仕について語り合い、伝えていきましょう。

我々がガバナーが国際協議会に行き、シェカール・メータ会長のビデオメッセージを受けました。皆さんと共有したいと思います。

(シェカール・メータIR会長のビデオメッセージ)

本年度のテーマは「Serve to Change Lives 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」です。

奉仕とは自分が住むこの空間に対する賃貸料である。奉仕をする時、誰かを助ける時、その人に恩を施していると考えないでください。実際にはその人達があなたに恩を施しているのです。私たちが世界から授かった恩恵への恩返しする機会を与えてくれているのです。与える時も仕える時も謙虚でありなさい。誰かのために生きてこそ人生には価値があるとおっしゃっています。

会員一人が一人を入会に導きましょう。会員数を130万人にするプロジェクトに取り組みましょう。

女子のエンパワーメントについて。世界の中には女子ということで差別や不利益を強いられている人がたくさんいます。女子の教育、健康、経済的な発展のスキルをロータリアンが与えていきましょう。日本のロータリーはもっと女性に活躍の機会を与えていく必要があります。

来年、国際大会がアメリカのヒューストンで開催されます。ビデオメッセージがありますのでご覧いただきたいと思えます。

(RI国際大会2022 アメリカ テキサス州ヒューストンのビデオメッセージ)

来年6月にヒューストンで国際大会が開催されることになりましたら、皆さんと是非ご一緒したいと思います。

ご静聴ありがとうございました。

閉会の言葉

依田会長

梶原ガバナー、素晴らしい卓話をありがとうございました。例会を閉会いたします。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
依田会長	ガバナー公式訪問ありがとうございました。	1,000円
柳田幹事	梶原ガバナー ありがとうございました。	1,000円
荒井会員	梶原ガバナー 公式訪問ありがとうございました。	3,000円
石原会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
小野会員	梶原ガバナー 卓話ありがとうございました。	1,000円
梶会員	梶原ガバナー 卓話ありがとうございました。	1,000円
上村英生会員	今回のオリンピックは寝不足になりません。	1,000円
上村文明会員	梶原ガバナー 公式訪問 有がありがとうございます。	1,000円
木村会員	ガバナー公式訪問、クラブ協議会お疲れさまでした。今年度一年よろしくお祈いします。	1,000円
小池会員	ガバナー公式訪問おつかれ様でした。	1,000円
塩毛会員	公式訪問及び協議会に乾杯！	1,000円
鈴木会員	依田年度 頑張ってください！！	1,000円
瀧日会員	梶原ガバナー卓話ありがとうございました。	1,000円
寺井会員	会長、ガバナー補佐、補佐幹事ありがとうございました。	1,000円
野田会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
服部会員	我孫子ロータリークラブは1年間頑張ります。	1,000円
日暮会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
藤本会員	梶原G、他ゲストの皆様、当クラブへお越し頂きありがとうございました。	1,000円
松本会員	欠席がつづきましたが今後は出席したくおもいます。	1,000円
村越会員	梶原ガバナー 公式訪問ありがとうございました。	1,000円
米田会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
当日計		23,000円
今期累計		81,000円

クラブ協議会

開会の挨拶 依田会長

引き続きましてクラブ協議会を始めさせていただきます。
今お話しにあった変革者という言葉ですが、昔「変革の能動者になれ」とある団体から言われたことを思い出しました。これから1時間クラブのことを話し合いたいと思います。よろしくお願いいたします。



〈クラブの現状と戦略計画発表〉 依田会長

我孫子クラブは本年度で創立56年を迎えます。2790地区では25番目に設立されたクラブです。姉妹クラブにはハワイのアラモアナクラブと台湾の豊原クラブがあります。

メンバーは今32名です。うち女性が3名です。49歳以下が6名、50代が12名、60代が5名、70代が9名、平均58.7歳です。

近年のよいところは奉仕活動を毎年続けていることです。17-18年度には親水広場に望遠鏡を地区補助金を使って寄贈させていただきました。18-19年度には少子化対策として婚活パーティーを開催させていただきました。19-20年度には親水広場に我孫子観光案内マップを地区補助金を使用して寄贈しました。昨年は手賀沼公園に我孫子観光マップ パート2として寄贈させていただきました。21-22年度はコロナ禍で困窮する「子ども達を我孫子の特産品で救え」ということでこども食堂に寄付をします。これも地区補助金を使用させていただこうと思っています。

我孫子クラブの長所は次のようなところです。
会員間の信頼関係が強く団結力があります。米山奨学生を毎年、積極的に受け入れています。
戦略計画としては、会員数を32名から35名くらいを考えています。女性会員も1人か2人プラスしていこうと考えています。

ビジョンとして、地域奉仕から国際奉仕まで常に積極的に実践する、ということ掲げています。

問題点としては、次のような点です。

新人とベテランの年齢差があるため交流が少し難しい点と、現役世代が多くなり仕事での欠席が多くなっている点です。クラブ協議会での課題として考えたいと思います。よろしく願いいたします。



〈会員からの現状報告〉 小野会員

まだ3年目でヒヨコなのですが、若手ベテラン問わずロータリアンの大切な義務のひとつである出席について、私なりの考えも含めましてお話しさせていただきたいと思えます。

皆さまには釈迦に説法だと思えますが、先日配られた「これだけは知っておきたいロータリーの基礎」の中の出席に関する規定を改めて見直してみました。

- ・ホームクラブに半期30%以上出席
 - ・メイクアップを含めて半期50%以上出席
 - ・連続四回欠席してはならない
- という出席規定があります。

この規約は会員身分を保証するための最低条件に過ぎず、ロータリー運動が望んでいる会員像は、毎例会、欠かさずホームクラブに出席してくるロータリアンの姿です。

例会に出席するという事は、会員の皆さんは各業界のスペシャリストの方ばかりですので、話を聞くだけでも自分にとって刺激になり、自分をレベルアップさせるためにとてもいいと考えています。

ただ私自身も出席がむずかしく、半分は必ず出ようと思っています。

オンラインや電話での出席も認めるとのことですので、出られない時はZOOMから参加させていただけようかと考えています。私の仕事柄、薬局をやっているのですが薬剤師がいないと店を閉めないといけなくて、人の都合をつけるのがむずかしいというのが現状です。

ベテランの会員の方々も若い頃に同じようなことがあったと思いますので、どのように乗り越えてきたかをお話ししていただけるとありがたいと思います。



〈クラブの研修について〉 村越研修リーダー

研修リーダーの立場からクラブが抱える課題についてお話ししたいと思います。

毎年、会長になりますと活動目標計画書というものを地区の方に提出し、クラブの課題をガバナー補佐と共有して、どのように改善していくかを目標とします。

本年度の依田会長は新入会員と年配会員との意見の差があるという点が課題だと話しされていました。それに対し研修リーダーとしてどう改善していくかを考えさせて頂きました。

クラブの年齢構成は活動計画書の27ページに書いてあるのですが、正会員32名中、最年長が86歳、最年少が41歳、平均年齢が約58歳です。

ロータリー歴は1年未満が3名、2~5年は13名、6年以上が16名です。

昨年コロナ禍で例会等が大半休会になり、研修の実施ができませんでした。

会長の経験者が14名でベテラン会員の方が、もう自分の役目は終わったと感じている方もいらっしゃるのではないかと危惧しています。

我孫子ロータリークラブの伝統や誇りを継承していくには、昔の事を知ってらっしゃるベテラン会員の方が在籍中に伝えていかなければいけないと考えています。

昨年、新入会員の研修ができなかったため、今年からは新入会員が1人でも入ったら研修をするべきだと考えています。

昨年、上村会員は我孫子クラブ初めてディスカッションリーダーの資格を取られたのですが、入会2~5年のメンバーの方に地区のRLI研修に参加していただけるようにしたいと思っています。ロータリーの事を知れるだけでなく、他クラブの方との交流でとても刺激をもらえます。

ベテラン会員の方の活躍の場をどんどんご用意していきたいと思っています。卓話やなんらかの実行委員長やSAA、地区の役員等、お願いできたらと思っています。

ロータリーの基礎を学ぶ研修を例会の中で実施したいと思っています。新入会員だけでなく、ベテラン会員も原点に戻ってロータリーを知る機会を作っていきたいと思っています。

我孫子ロータリーの伝統を継承していくのに何が重要か考えた時、昨年参加させていただいた地区のロータリー談義の集いというような集まりを是非クラブ内に取り入れたいと考えています。本当はお酒を飲みながらやりたいのですが、是非、ベテランの会員と若手の会員とで、昔の我孫子クラブの話をしていただきたいと思っています。

以上、研修リーダーとして取り組んでいきたいことです。ありがとうございました。



〈ベテラン会員からのアドバイス〉 我孫子ロータリークラブの利点、欠点 出席率の低下について

ロータリー財団委員長 上村文明会員

歳をとって在籍年数は多いのですが、決してベテランではありません。が、欠席率の低下についてお話したいと思います。

まずは自己紹介をさせていただきます。

私は、ロータリー創設者のポールハリスが亡くなった年(1947年)に生まれました。諸岡靖彦パストガバナーも同年でございます。

我孫子ロータリークラブ入会は1998年、瀧日会長の時ですので今年で23年目になります。実は入会当初、税理士会等の役職を多く引き受けていて、ロータリークラブの例会にあまり出席できない状態が3年ほど続きました。たまに来ると鈴木公三さんなんか「文ちゃん、来てくれたか!」と非常に暖かく迎えてくれたのが印象に残っています。

やめようとも思いましたが、2790地区の他クラブの同業の税理士先輩3人にそれぞれ「絶対にやめてはだめだよ、今わからなくても続けることでロータリーの良さがわかる時が来るから」と言われ、また、たまに例会に出席するとクラブ会員の温かさが感じられ踏みとどまった次第です。「ロータリーの例会は人生の道場です」と米山梅吉さんもおっしゃっています。

以来、おかげさまでクラブ会長2回、ガバナー補佐の経験もさせていただきました。多くの素晴らしい仲間とも巡り合うことができました。我孫子クラブの皆様のおかげと感謝しております。

さて、本題に入ります。

我孫子ロータリークラブの会員数は現在32人ですが、5年以内の新入会員の増加により、ロータリークラブにおける例会出席の意味する重要性についての理解の欠如と思われる出席率の低下がみられます。

直近3年間の平均出席率について事務局に調べていただきました。

2018~2019年度 72.39%

2019~2020年度 68.07%

2020~2021年度 56.42%

と、毎年低下してきております。この原因について、少し考察してまいりたいと思います。

1. コロナの感染拡大による例会の在り方について

2020年2月頃から日本国内に広まってきた新型コロナウイルスによる感染拡大によって、従来の例会の在り方の方法を変えなければならなくなってきました。

政府の感染拡大防止措置・緊急事態宣言等による集合の禁止を受けて、従来の例会ができなくなり、ウェブによる例会ないしはハイブリット例会等いろいろ工夫しなければならない事態となりました。本来、例会は会員が週に一度集まって会員同士の親睦とクラブ活動の方向性へのベクトルを共有する場であったと思いますが、会員同士の感染防止のため集合例会が難しくなりました。

また例会の他、社会奉仕活動の中止があったり、炉辺談話や家庭集会、新入会員に対するオリエンテーション、親睦を深める旅行や懇親会もできなくなり、クラブが一団となるチャンスが無くなりました。

2. 新入会員にたいするオリエンテーションが行き届いていない

この様に、新入会員の増加によるロータリーにおける例会出席の意味についてのオリエンテーションを開催できる状況が、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言等による例会の休会や、ウェブによるオンライン例会等によって限られてしまっています。

当クラブでは、例会出席について細則を設けていませんので定款第10条第1節から第7節の規定によることになります。

第5節には一般規定として例会時間の60%出席が求められ、例会欠席時の他クラブ例会のメークアップ等が規定されています。第5節の出席規定の免除として理事会が正当な理由として認めた期間の免除、ロータリー歴と年齢合計が85年以上でかつ20年のロータリー歴のある会員が出席免除を书面で理事会に申請して承認された時、とありますが我孫子クラブでは現在7人の該当者がいます。きちんと規定通りの申請と理事会承認がなされていないのではないのでしょうか。

3. 会員増強と例会欠席会員身分の終結処分の甘さ

定款第13条に会員身分の終結について会員の出席率、連続欠席、会費不払等により理事会の決定による会員身分の終結決定ができるようになってはいますが、その理事会決議が行われていません。またクラブ細則で出席率・連続欠席について例外規定を設けることができるのですが、細則規定がないまま、当該該当者についての理事会が開催されていないと思います。

本来ならば、出席率の悪い会員については紹介会員のアフターケア、出席委員会等、会員間のフォローが大切であり、例会参加がロータリアンの義務ではなく、より積極的に権利となるものと考えます。

私あまり出席しなかった頃に、先ほども言いましたが鈴木公三会員が「文ちゃん、よく来たな!」と暖かく迎えてくれたことはありがたかったなと感じています。また、紹介者の会員が声をかけることも大事なのかなと思います。

4. 当面の会員増強35人の目標

当クラブでは、60人以上の会員数の時代もあったと聞いています。10年ほど前には20数名の会員数だった時もあります。会員数が少ないと予算が足りなく、思うように活動ができなくなります。

あの人、入会してくれたらいいなという人を挙げるということを我孫子クラブでは前にやっていました。私も実は当時の我孫子クラブの会員2人から別々にアタックされて入りました。1人は鈴木や本店の鈴木さん、もう1人は野田電機の野田さんでした。

会員増強はクラブ活動の維持発展の原動力となるものです。我孫子クラブは会員皆様の親睦と方向性のベクトルが同じで、しかも若い時代に向いているように感じます。団結と若さでこれからのクラブ活動を維持発展させてください。

我孫子は今、世代が交代しようとする局面になっています。どこのクラブでもありますが、老人会員と青年会員との議論をたくさんやらないと溝ができてしまいます。私は酒を飲ませれば、いつでも若い方に入りますので、よろしくお願いします。

最後になりましたが、我孫子ロータリークラブにおいても、遅まきながらRLIの勉強会に参加する会員が出てまいりました。

より多くの会員の皆様にRLIのプログラムに参加・勉強していただき、DL達成目指して頂くことをお願い申し上げます、終わらせていただきます。



講評 ガバナー 梶原等様

皆さま、お疲れさまでした。

奉仕活動をずっと継続されていること、米山奨学生の受け入れをずっとされていることは、こちらのクラブの魅力であり、大きな活力になっていると思います。

手賀沼公園のすぐそばの生涯学習センターは空調設備の設計等でお世話になっているので親近感を感じました。

35名の会員数を目指していただきたいと思います。女性のエンパワーメントについては、女性の活躍の場をもっと増やし、国際的に不利な立場に置かれている女性を救い出すことができればいいと思います。

出席に関する課題については、年度内にメイクアップをしていただければと思います。国際ロータリーの方でメイクアップの期限が延びました。

RLIはどんどん積極的に参加していただきたいと思います。1年に1つずつでも構いません。

ロータリーの出席の原点は、ビジネスの交換の場として週に1回の集まりでした。以前は先週の欠席は今週のうちにメイクアップしなさいと先輩から言われました。

今はいろいろなツールがあります。スマートホン1台あれば、どこでも例会に参加することができます。例会に出席しなくても、ロータリーの本を読んだり、奉仕活動をするなり、ロータリーの気持ちを持ち続けることが大事なのかなと思います。気持ちの問題だと思います。今、その柔軟性が求められているのだと思います。

皆様のご活躍をご期待申し上げます。ありがとうございました。



ご挨拶 ガバナー補佐 佐々木ゆみ子様

11グループ柏東から来ました佐々木と申します。私はロータリー歴19年になります。このような役職をいただき、11グループのクラブさんに顔を出すことが本当に多くなりました。我孫子さんに来た時も以前からの顔見知りの方が多くいらっしゃいましたが、新しい方も多くいらっしゃり、時代が流れて発展しているのだなと感じています。

私は23年前に起業し、起業4、5年目で誘っていただいたのですが、非常に忙しくて出席が難しく葛藤がありました。ただ、悠々適度に例会に参加されている姿が素晴らしく、尊敬していたので、自分がどうやったらそうなれるかを少しずつ考えていきました。今は、ロータリーに参加できる状況を作りました。こればかりが正解ではありませんが、そういったことも踏まえてロータリー談義が必要なのかなとすごく感じています。これから1年間皆様と一緒したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

閉会の言葉 依田会長

本日は長時間に渡りお疲れ様でした。こんなコロナ禍の状況ですが、楽しくロータリー活動をしていけたらと思っておりますので今後とも宜しくお願い致します。本日はありがとうございました。

今週の表紙「佃煮 安井家」千葉県我孫子市本町3丁目5番1号

我孫子駅南口から徒歩3分の場所にある老舗の佃煮屋さんです。贈答シーズンにはお客様が絶えない人気のお店です。

創業昭和2年、東京の三ノ輪で佃煮を製造販売したのが安井家の佃煮の始まりで、我孫子の地へ移り60余年、安井家の佃煮は我孫子の名物として「ふるさと産品」にも選ばれています。お薦めは一番人気の「ごっこの佃煮」です。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。